

大阪工業大学
「卒業生アンケート調査
2018」

報告書

平成31年2月

目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査方法	1
2. 調査期間	1
3. 回収状況	1
4. 質問項目	1
5. 回答者属性.....	2
II. 調査結果.....	5
III. 調査分析.....	18
1. 学科別集計.....	18
2. 大学院への進学に関する集計.....	23
3. 得点化による比較・考察.....	25

I. 調査概要

1. 調査方法

- WEB アンケート方式

2. 調査期間

- 2018年12月25日から2019年1月21日

3. 回収状況

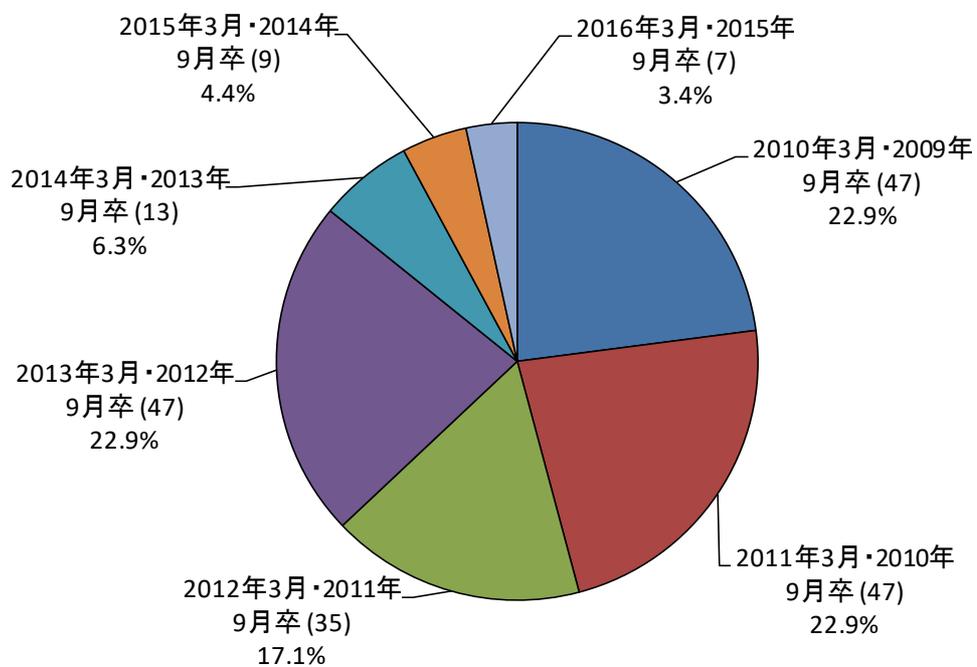
- 調査対象：大阪工業大学より提供された卒業生2,439名
- 有効回答数205票
- 回収率8.4%

4. 質問項目（一部省略）

- 問1 卒業年度
- 問2 学科・専攻、大学院への進学について
- 問3 現在の勤務先について、勤務先は大学で学んだ専門分野に関連するか
- 問4 資質・能力は、今仕事をしている中で求められているか（27項目）
資質・能力は、大学・大学院卒業時に身につけていたか（27項目）
- 問5 問4について、自己の特徴を理解しておくことは必要か
問4について、資質・能力を伸ばすのはいつ頃から始めるのが良いか
問4について、授業・演習等を取り入れた方が良いか
- 問6 授業・演習等を取り入れた方が良いか

5. 回答者属性

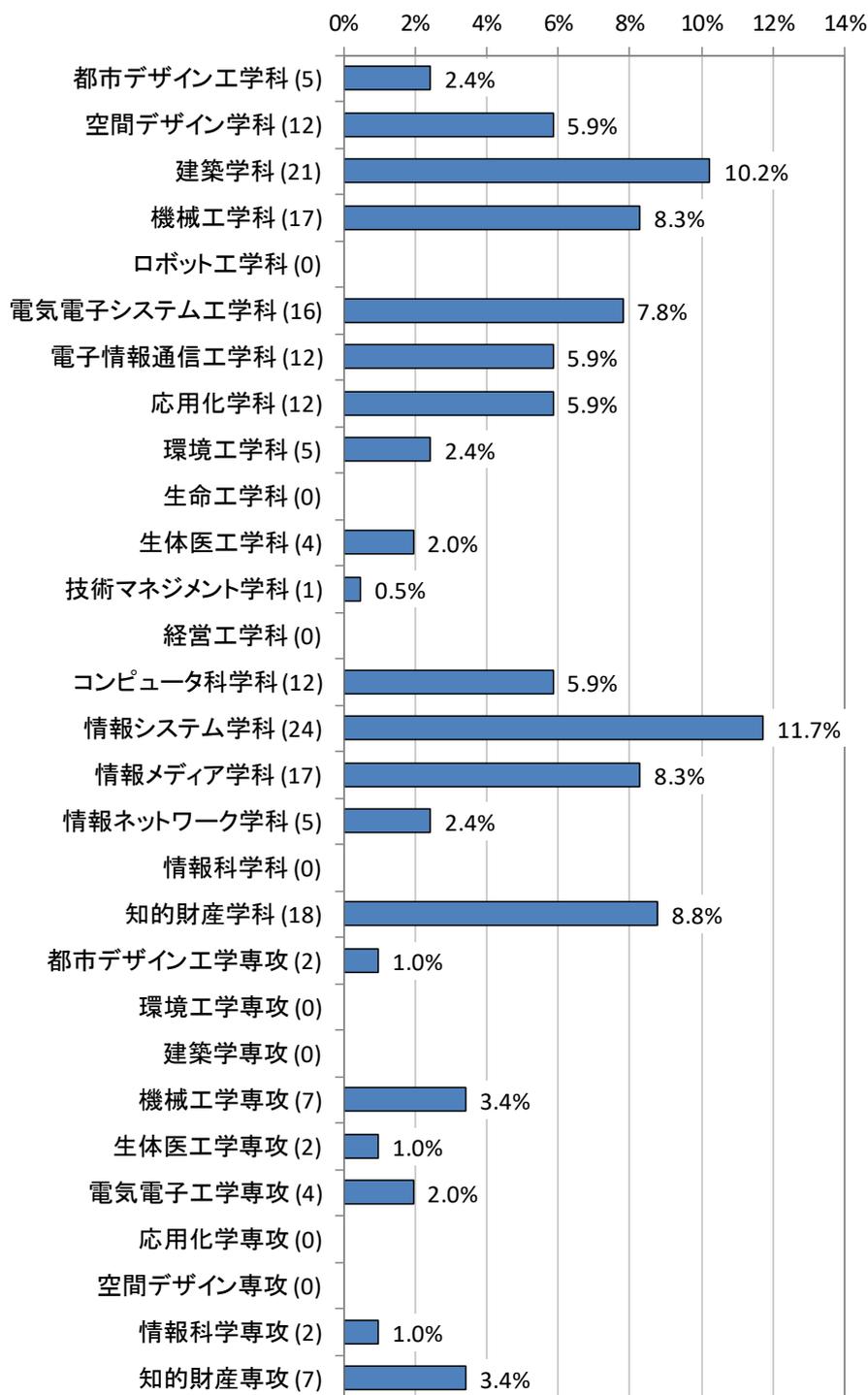
問1. あなたの卒業年度を以下の中から選びください。(n=205)



問2. あなたについて教えてください。

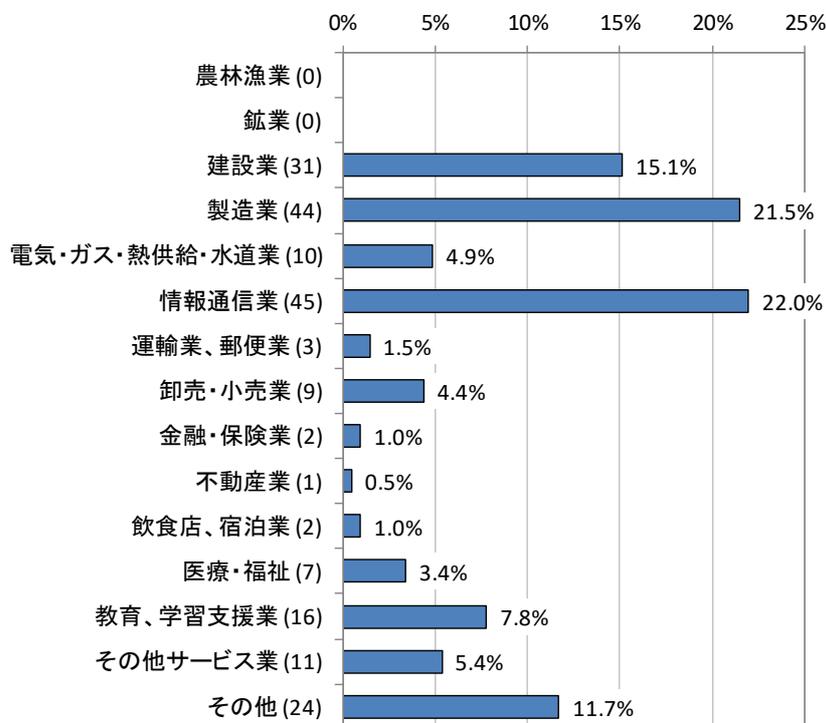
(1) 本学において最後に所属していた学科(または専攻)を以下の中からお選びください。

(n=205)

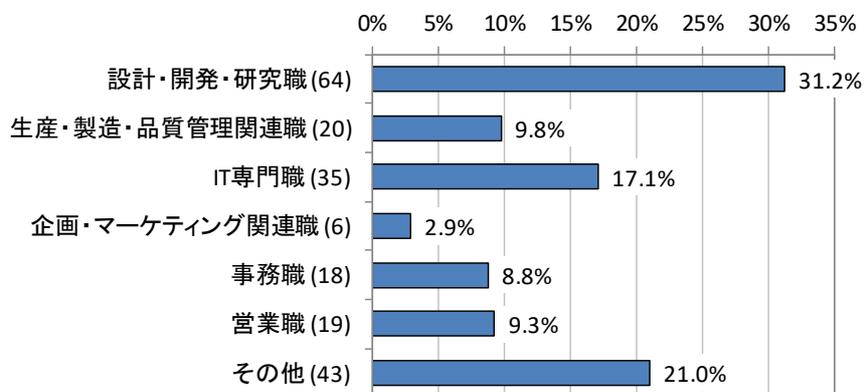


問3. あなたの現在の勤務先について教えてください。

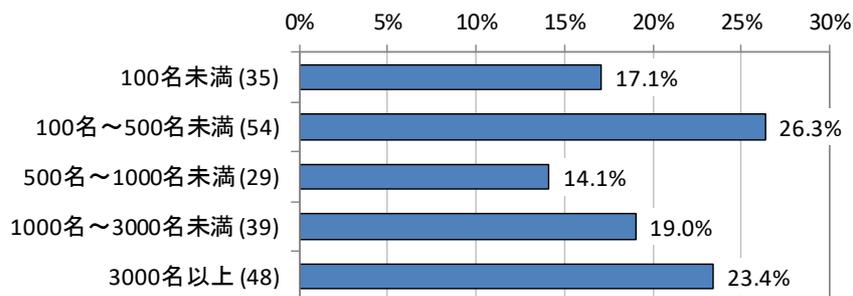
(1) 業種 ※複数該当する場合は主要事業について回答してください。(n=205)



(2) 職種 (n=205)



(3) 従業員数 (n=205)



II. 調査結果

問2（2）大学院への進学について

- 大学院への進学について、学部卒では、職場で必要性を感じているのは12.7%（必要性を大いに感じる＋必要を感じる）である。
- 大学院進学について、大学院修了では、進学してよかったと回答しているのは79.2%（進学してよかった＋どちらかといえば進学してよかった）である。

問2（3）大学院への進学が必要、進学してよかった理由

- 職場で大学院進学の必要性を感じる、進学してよかったと回答した理由として、「社会に出て役立つ実践的な経験（研究を通じた課題解決・改善プロセス（PDCA）を積めた」が50.0%で最も高い。
- 次に「設計・開発・研究職として仕事ができる（可能性がある）」が40.5%である。

問3（4）勤務先・勤務内容が大学で学んだ専門分野に関連するか

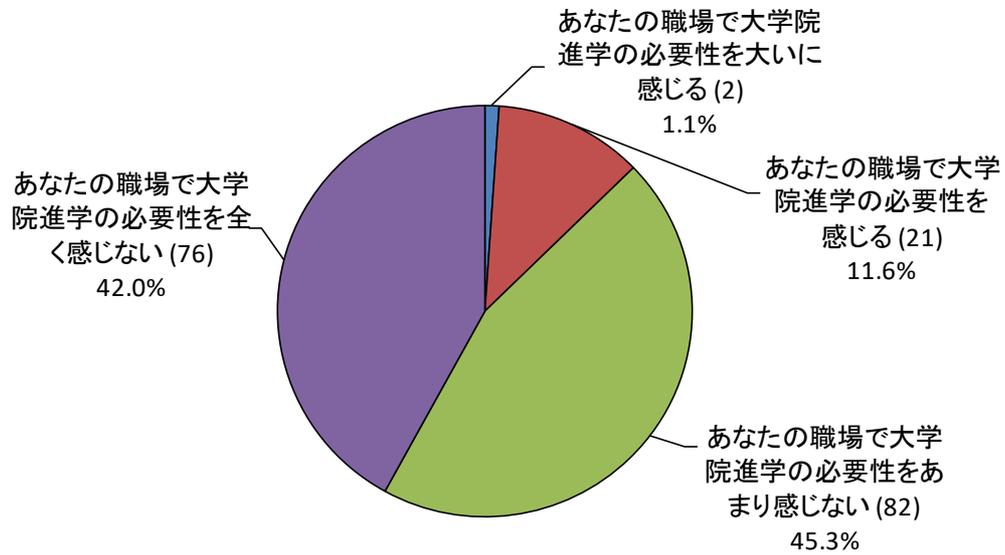
- 勤務先・業務内容が大学で学んだ専門分野に関連するかについて、関連するのが66.8%（関連する＋どちらかといえば関連する）である。

問3（5）専門知識の基礎を大学で身につけられたか

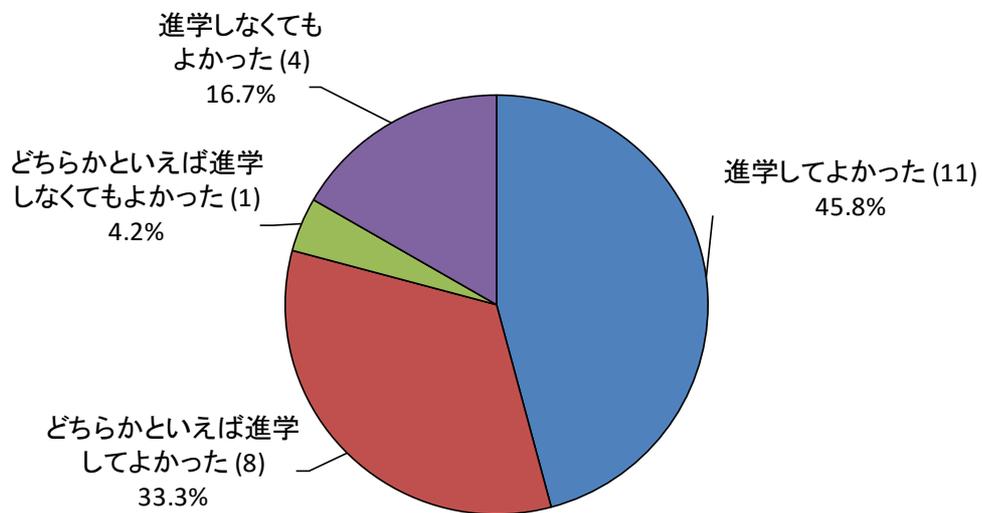
- 勤務先・業務内容が大学で学んだ専門分野に関連するかについて、専門知識を大学で身につけられたが84.7%（身につけられた＋どちらかといえば身につけられた）である。

問2 (2) 大学院への進学について、今のお気持ちを以下の中からお選びください。

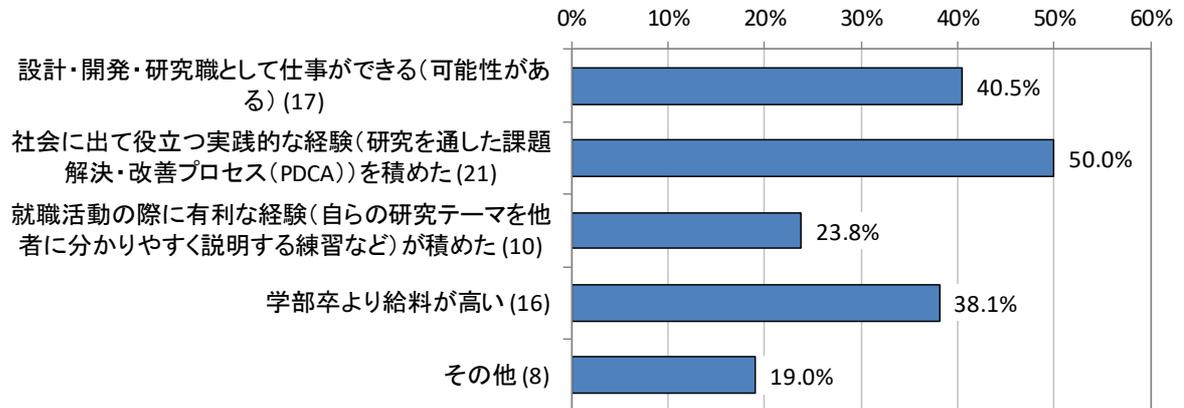
① 最終学歴が学部卒 (n=181)



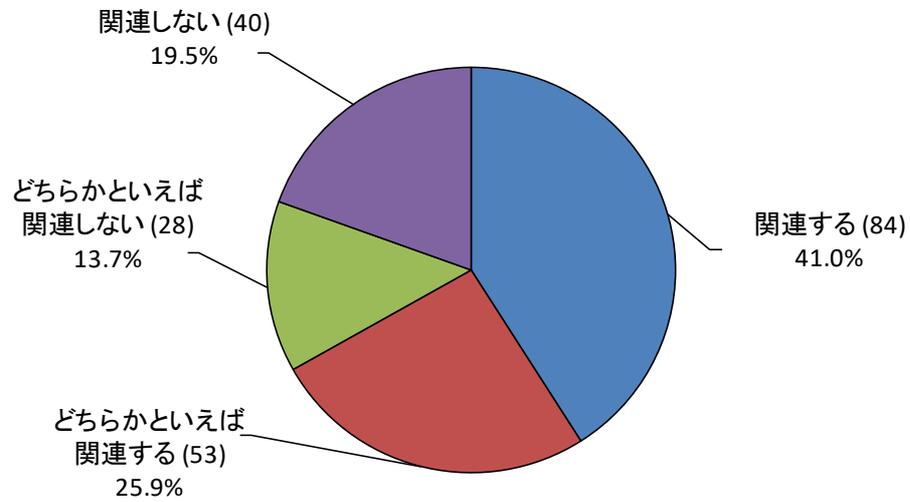
② 最終学歴が大学院修了 (n=24)



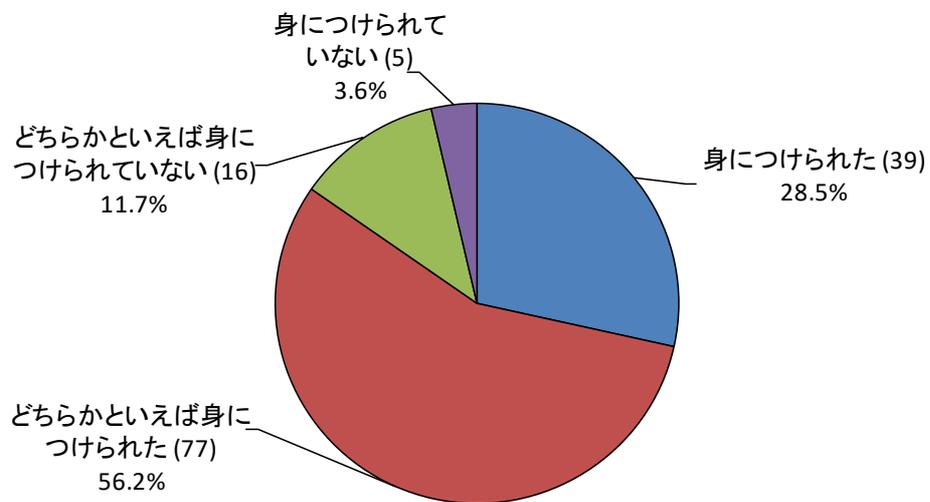
問2 (3) (2) において、学部卒で「3. あなたの職場で大学院進学の実用性を感ずる」
「4. あなたの職場で大学院進学の実用性を大いに感ずる」(大学院修了の場合は「3. どちら
かといえは進学してよかつた」「4. 進学してよかつた」) を選択した方へうかがいます。(2)
の回答理由について以下の中からあてはまるものをお選びください。(複数回答可) (n=42)



(4) あなたの勤務先・業務内容は大学で学んだ専門分野に関連するものですか？ (n=205)



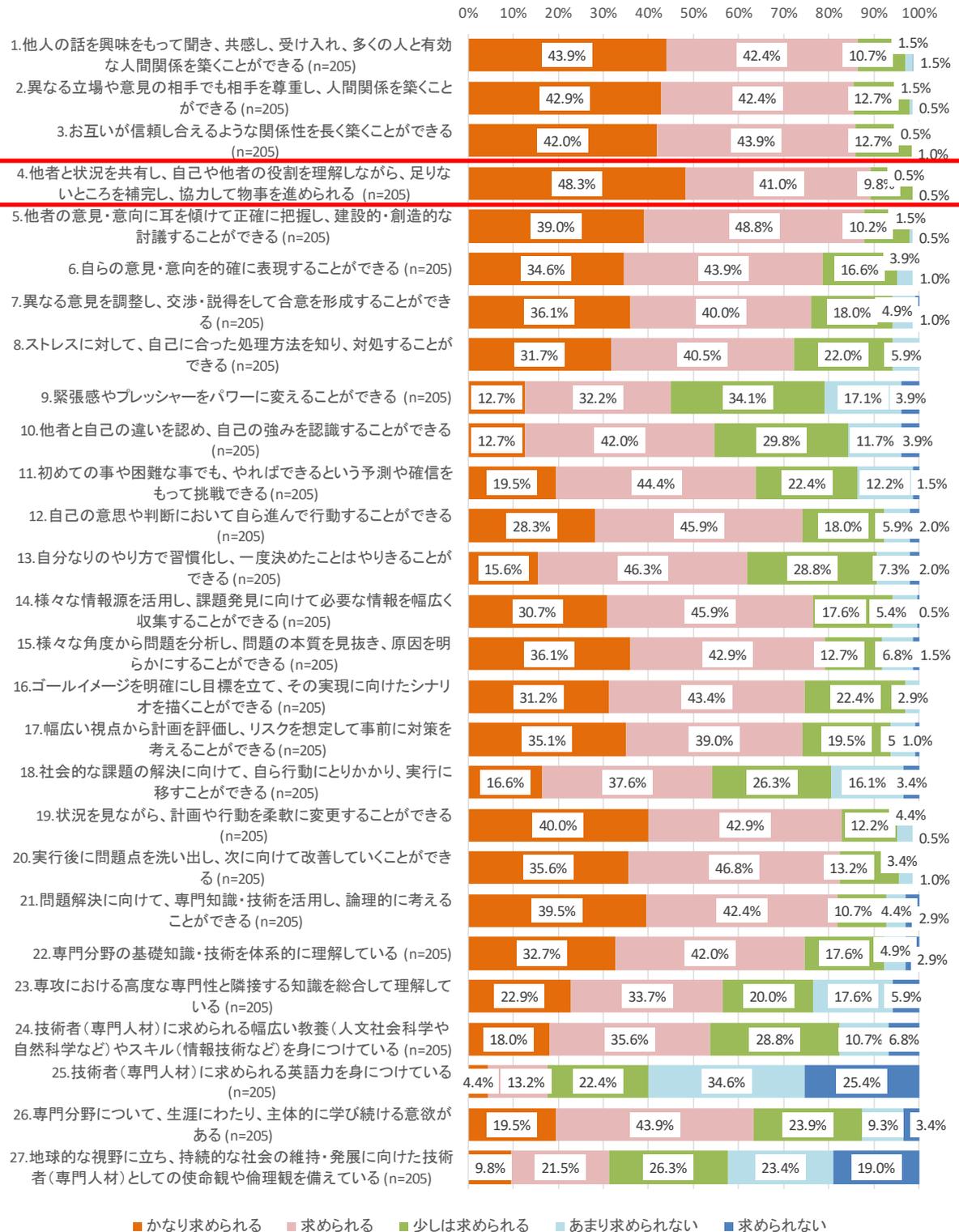
(5) (4)に「3. どちらかといえば関連する」「4. 関連する」と回答した方へうかがいます。現在の仕事で求められる専門知識の「基礎」を大学で身につけられましたか？ (n=137)



問 4 (1) 今仕事をしている中で求められる資質・能力

- 今仕事をしている中で求められる資質・能力について、「4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる」が 89.3% (かなり求められる+求められる) と最も高い。
- 次いで「5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる」「1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる」「3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる」と、他者との協力や人間関係に関する回答割合が高い。

問4. 以下に示す各項目における5段階の選択肢の中から最も適切なものを選んでください。(1) 各資質・能力は、今仕事をしている中で求められるものですか？(n=205)¹

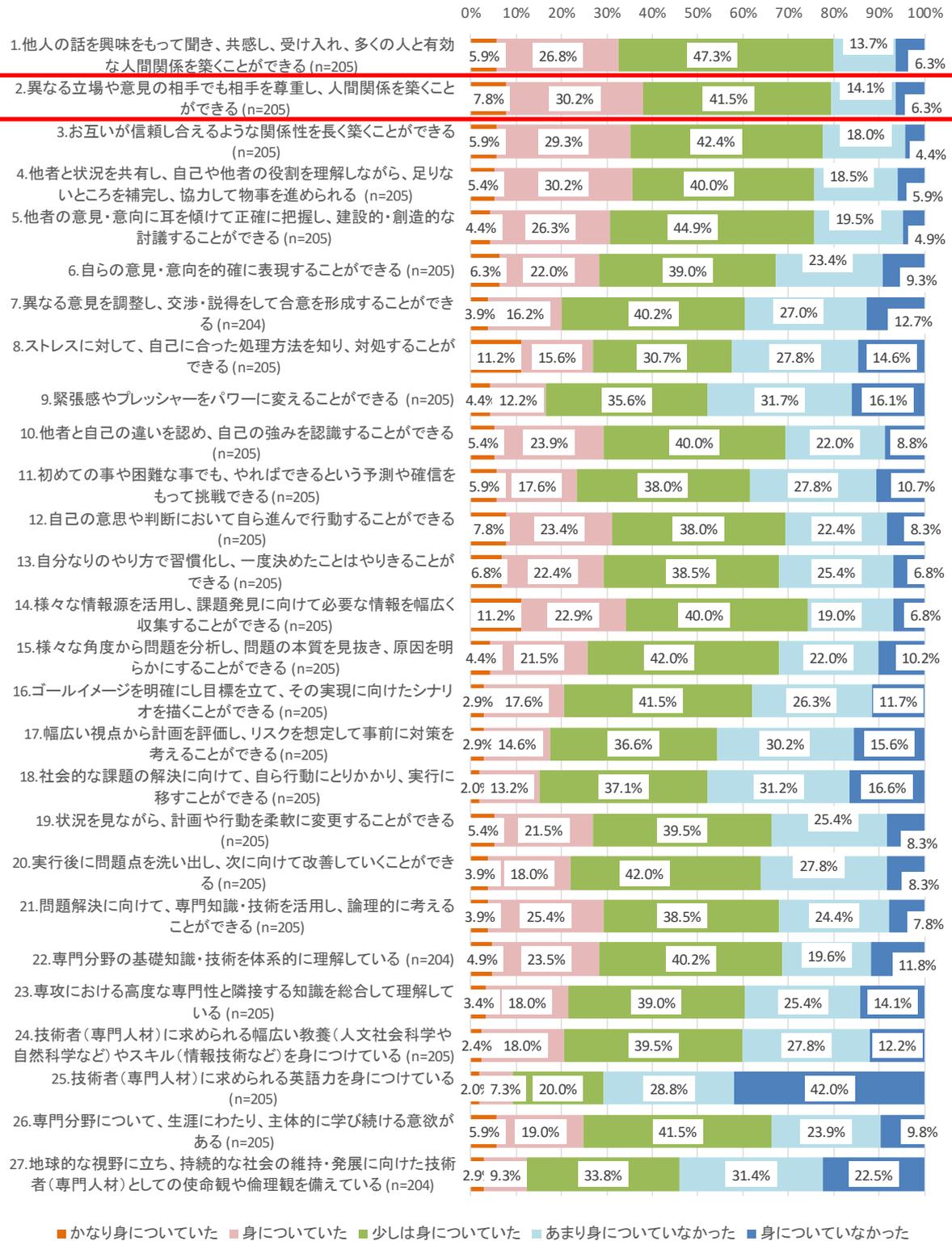


¹ 設問 7、22、27 は n=204、その他は n=205

問4（2）大学・大学院卒業時に身につけていた資質・能力

- 大学・大学院卒業時に身につけていた資質・能力について、「2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる」が38.0%（かなり身につけていた+身につけていた）と最も高い。
- 次に「4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる」「3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる」の回答割合が高い。

問4. 以下に示す各項目における5段階の選択肢の中から最も適切なものを選んでください。(2) 各資質・能力は、大学・大学院卒業時に身につけていましたか？(n=205)²



² 設問 7、22、27 は n=204、その他は n=205

問5（1）自己の特徴（強みや課題）を理解しておく必要

- 問4の資質・能力について、自己の特徴を理解しておくことが、必要であるが92.2%（必要である+どちらかといえば必要である）である。

問5（2）資質・能力を伸ばすのはいつ頃から始めるのが良いか

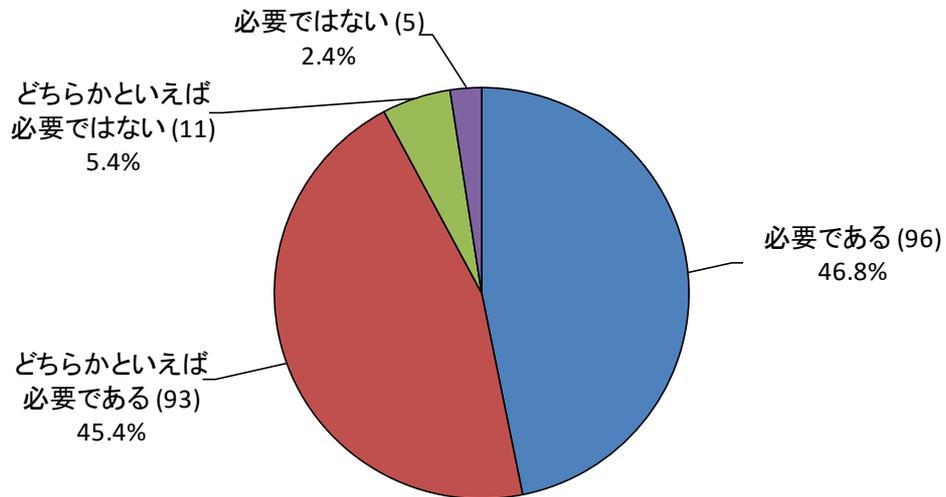
- 問4の資質・能力を伸ばす時期について、「大学1・2年次から」が58.5%で最も高い。次に大学3・4年次が29.8%である。

問5（3）取り入れたほうが良い授業・演習等

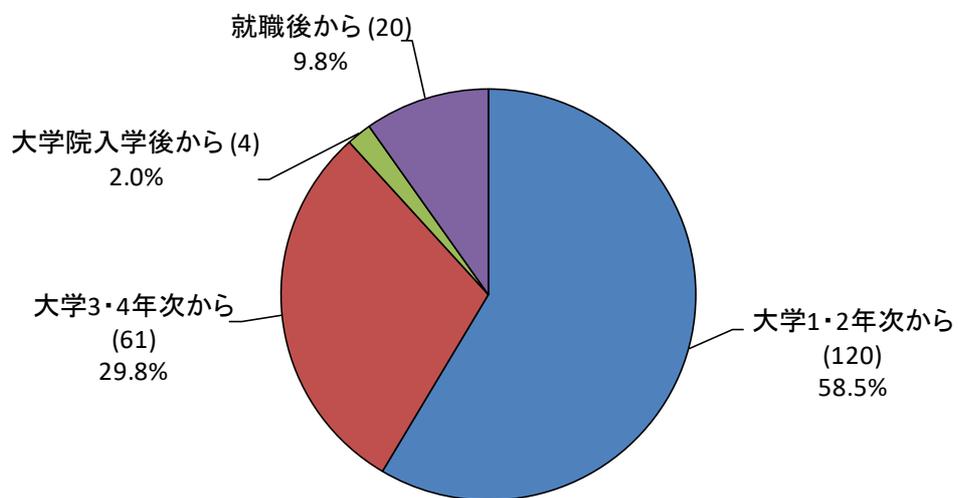
- 問4の資質・能力を伸ばすために、「5.人前で話すことを何度か経験し、プレゼンテーション力を育成する」が90.2%（かなり必要+必要）で最も高い。
- 次に「4.グループワークを通じて、コミュニケーション力を育成する」が86.3%、「6.文章を書かせる機会を増やし、書き方をフィードバック（評価・添削）してあげる」が82.0%である。
- 大学卒のその他の内容は、論理的思考、自分の意見を伝える能力を養う、異なる属性（年齢層、分野）の人との作業、問題提起力などがある。
- 大学院修了のその他の内容は、学外での学び（留学や他大学との学び合い）、個人の長所を伸ばすがある。

問5 問4の資質・能力について質問です。

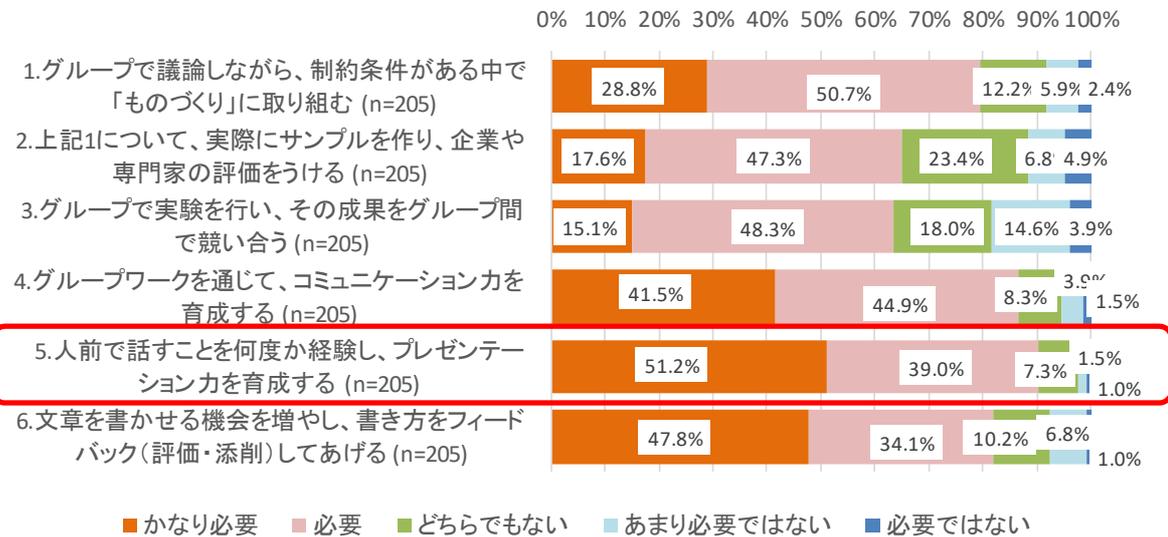
(1) 就職活動や実際に働くに当たり、問4の資質・能力について、自己の特徴（強みや課題）を理解しておくことは必要と思いますか？ (n=205)



(2) 問4の資質・能力を伸ばすのは、いつ頃から始めるのが良いと思いますか？ (n=205)



(3) 問4の資質・能力を伸ばすために、以下の様な授業・演習等を取り入れた(増やした)方が良いと思いますか？(n=205)



※「ものづくり」とは、例えば、建築系であれば模型作りまで、情報系であればコーディングまで

問6（1）学ぶ意欲を高めるために

- 学ぶ意欲を高めるために「2.チームで自らの意見や考え、想いを話しあえる授業形式にする」が77.6%（かなり必要+必要）で最も高い。
- 次に「3.今学んでいることが実社会でどのように役立っているのかをイメージさせる」が77.1%（かなり必要+必要）である。

問6（2）卒業研究をより充実させるために

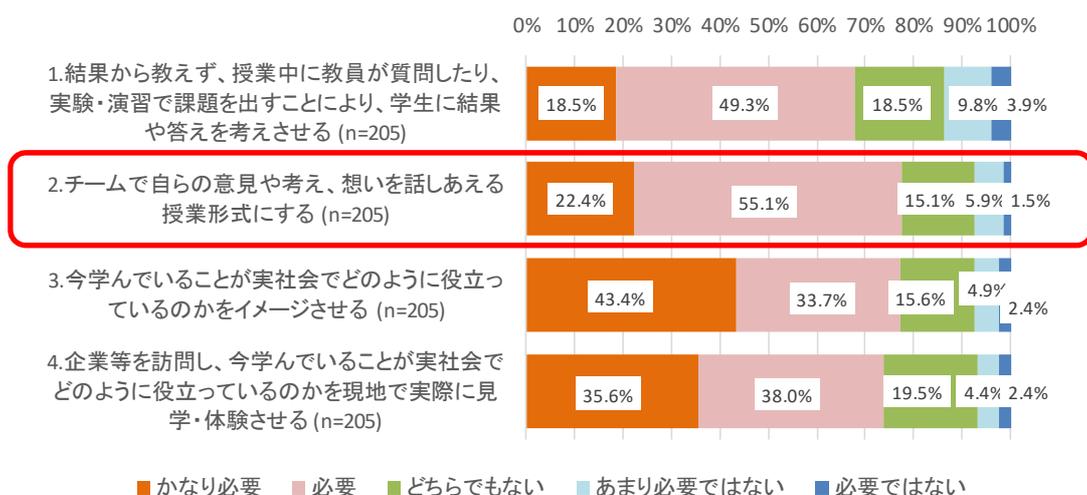
- 卒業研究をより充実させるために「3.研究室紹介（1年次に、各研究室の研究内容や先輩の就職先などのガイダンスを実施する）」が63.4%（かなり必要+必要）で最も高い。
- 次に「2.プレ研究の導入（3年次の就職活動開始前までに、卒研の少し前レベルの演習を行う）」が39.0%（かなり必要+必要）である。

問6（3）計画的な履修・学修のため

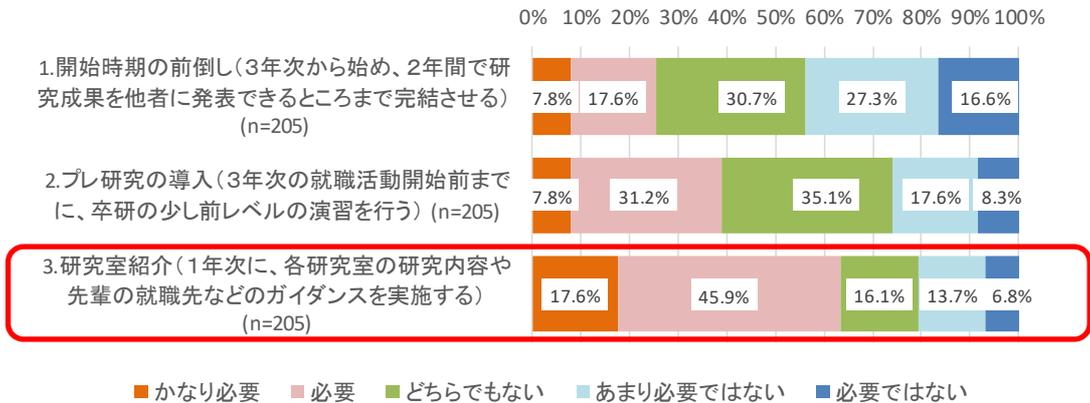
- 計画的な履修・学修のため「1.1年次に、今後、各学年でどんなことを学修していくのかを紹介するガイダンスを実施する」が76.6%（かなり必要+必要）で最も高い。
- 次に「2.シラバスに科目履修モデルを進路（先輩の就職事例）と共に例示する」が65.9%（かなり必要+必要）である。

問6. 以下のような授業・演習等を取り入れた（増やした）方が良いと思いますか？

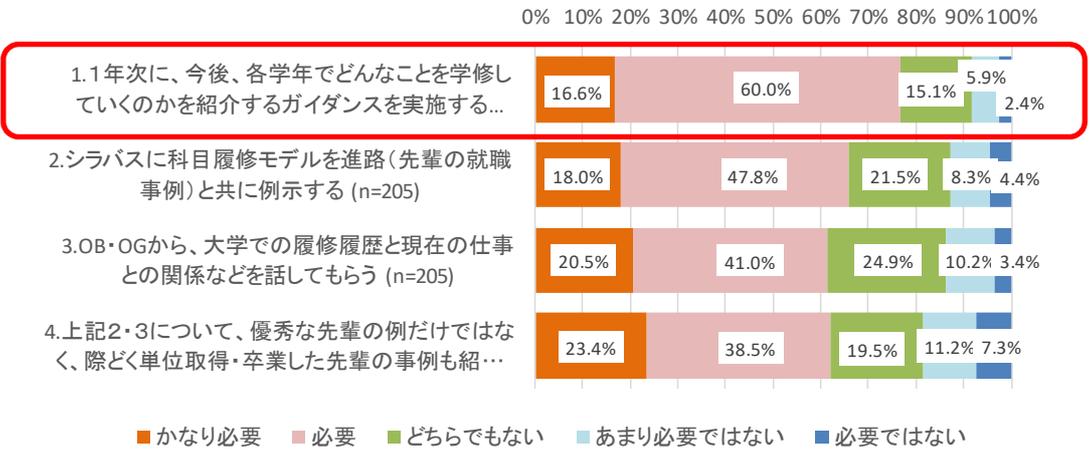
(1) 学ぶ意欲を高めるために (n=205)



(2) 卒業研究をより充実させるために (n=205)



(3) 計画的な履修・学修のため (n=205)



Ⅲ. 調査分析

1. 学科別集計

ここでは所属学科（または専攻）ごとの集計を行った。

問2（2）大学院進学について

- 学部卒において「職場で大学院進学の必要性を感じる（大いに感じる＋感じる）」が全体よりも高いのは、情報ネットワーク学科（40.0%）、電子情報通信工学科（33.3%）、生体医工学科（25.0%）、都市デザイン工学科（20.0%）、建築学科（19.0%）、応用化学科（16.7%）、情報システム学科（16.7%）、である。
- 大学院修了において、都市デザイン工学専攻を除き「進学してよかった（進学してよかった＋どちらかといえば進学してよかった）」が高い。

問3（4）勤務先・業務内容は大学で学んだ専門分野に関連しているか

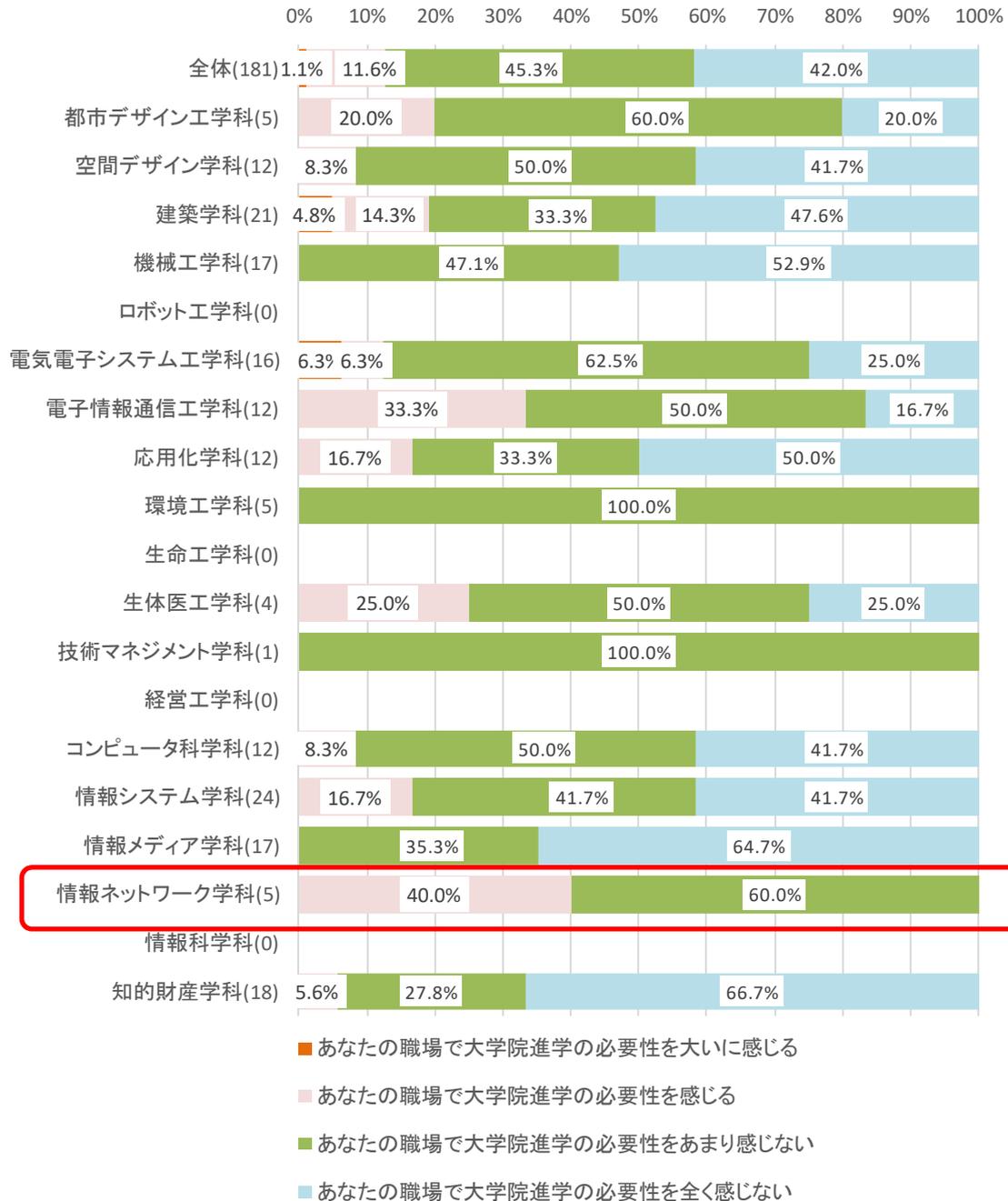
- 学部卒において、勤務先・業務内容が大学で学んだ専門分野に「関連する（関連する＋どちらかといえば関連する）」が全体よりも高いのは、コンピュータ科学科（100%）、情報ネットワーク学科（100%）、建築学科（81.0%）、電子情報通信工学科（83.3%）、情報システム学科（91.7%）である。
- 大学院修了において、勤務先・業務内容が大学で学んだ専門分野に「関連する（関連する＋どちらかといえば関連する）」が全体よりも高いのは、都市デザイン工学専攻（100%）、情報科学専攻（100%）、機械工学専攻（71.4%）である。

問2（1）所属学科（または専攻）×問3（5）現在の仕事で求められる専門知識の「基礎」を大学で身に付けられましたか

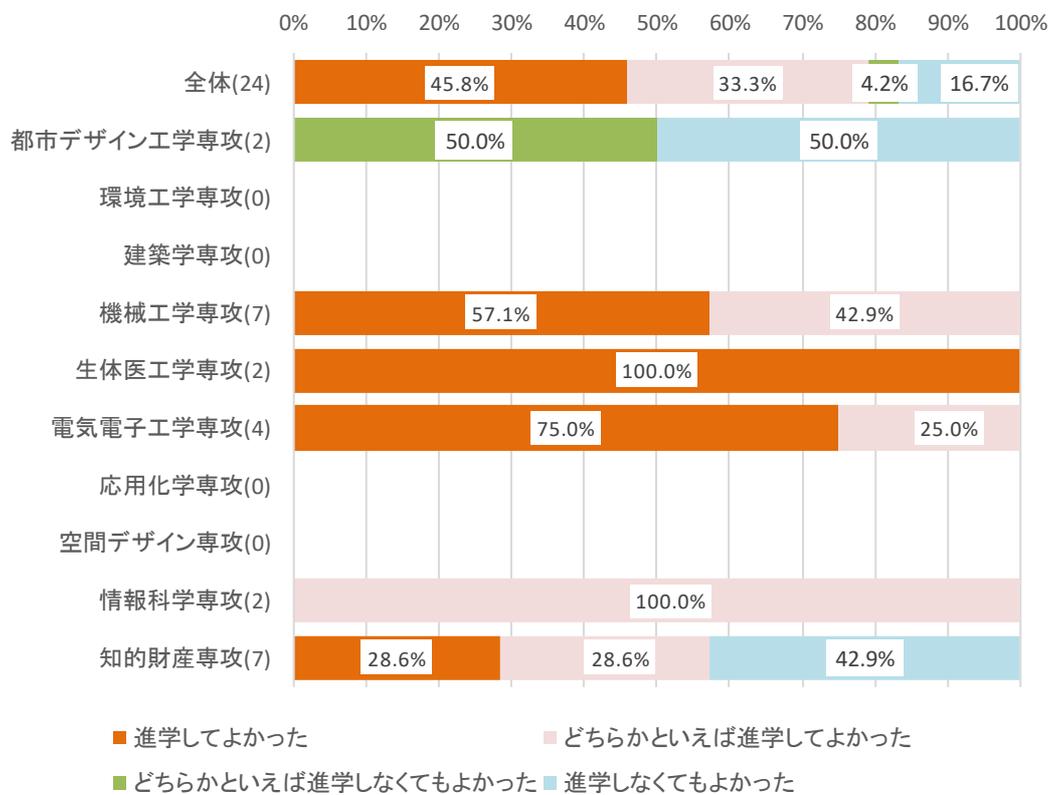
- 「身につけられていない（どちらかといえば身につけられていない＋身につけられていない）」の回答割合が高いのは、環境工学科（66.7%）、生体医工学科（50.0%）で、その他の全ての学科・専攻では「身につけられた（身につけられた＋どちらかといえば身につけられた）」の回答割合が高い。

問2 (2) 大学院進学について今の気持ちを以下の中からお選びください。

①学部卒



大学院修了



問3 (4) あなたの勤務先・業務内容は大学で学んだ専門分野に関連するものですか？

	全体	関連する	どちらかといえ ば関連する	どちらかといえ ば関連しない	関連しない
全体	205 (100.0%)	84 (41.0%)	53 (25.9%)	28 (13.7%)	40 (19.5%)
都市デザイン工学科	5 (100.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)
空間デザイン学科	12 (100.0%)	5 (41.7%)	3 (25.0%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)
建築学科	21 (100.0%)	13 (61.9%)	4 (19.0%)	0 (0.0%)	4 (19.0%)
機械工学科	17 (100.0%)	7 (41.2%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	2 (11.8%)
ロボット工学科	0	0	0	0	0
電気電子システム工学科	16 (100.0%)	4 (25.0%)	6 (37.5%)	4 (25.0%)	2 (12.5%)
電子情報通信工学科	12 (100.0%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)
応用化学科	12 (100.0%)	3 (25.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)
環境工学科	5 (100.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)
生命工学科	0	0	0	0	0
生体医工学科	4 (100.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)
技術マネジメント学科	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
経営工学科	0	0	0	0	0
コンピュータ科学科	12 (100.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
情報システム学科	24 (100.0%)	14 (58.3%)	8 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)
情報メディア学科	17 (100.0%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)
情報ネットワーク学科	5 (100.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
情報科学科	0	0	0	0	0
知的財産学科	18 (100.0%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	6 (33.3%)	10 (55.6%)
都市デザイン工学専攻	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
環境工学専攻	0	0	0	0	0
建築学専攻	0	0	0	0	0
機械工学専攻	7 (100.0%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)
生体医工学専攻	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
電気電子工学専攻	4 (100.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
応用化学専攻	0	0	0	0	0
空間デザイン専攻	0	0	0	0	0
情報科学専攻	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
知的財産専攻	7 (100.0%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)

問3 (5) 現在の仕事で求められる専門知識の「基礎」を大学で身につけられましたか？

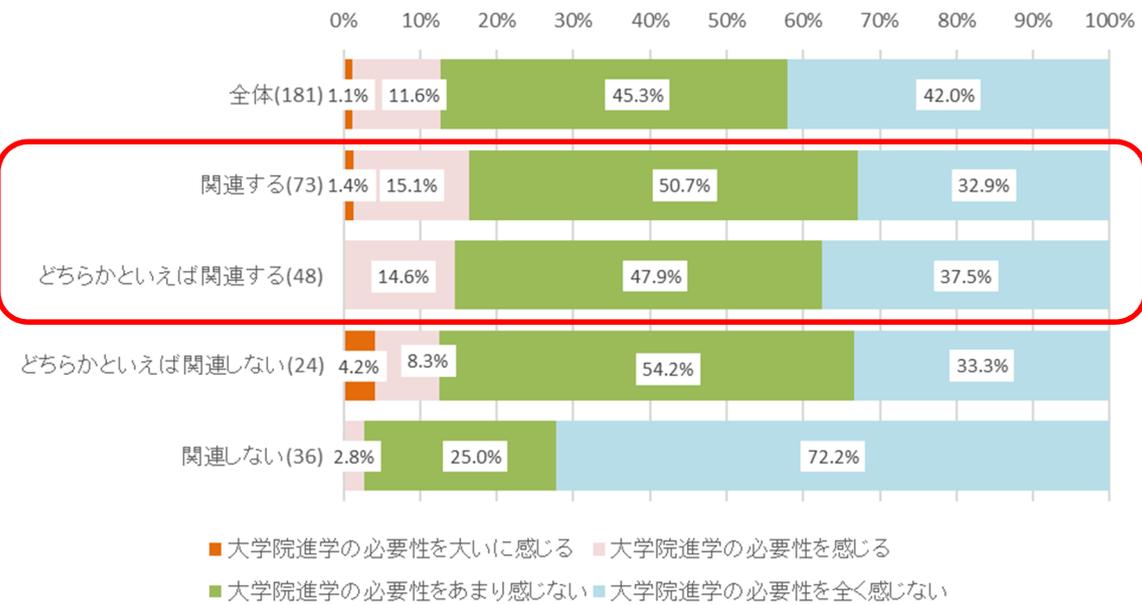
	全体	身につけられた	どちらかといえば身につけられた	どちらかといえば身につけていない	身につけていない
全体	137 (100.0%)	39 (28.5%)	77 (56.2%)	16 (11.7%)	5 (3.6%)
都市デザイン工学科	3 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
空間デザイン学科	8 (100.0%)	0 (0.0%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)
建築学科	17 (100.0%)	3 (17.6%)	10 (58.8%)	3 (17.6%)	1 (5.9%)
機械工学科	11 (100.0%)	2 (18.2%)	5 (45.5%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)
ロボット工学科	0	0	0	0	0
電気電子システム工学科	10 (100.0%)	3 (30.0%)	5 (50.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)
電子情報通信工学科	10 (100.0%)	2 (20.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
応用化学科	5 (100.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
環境工学科	3 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
生命工学科	0	0	0	0	0
生体医工学科	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
技術マネジメント学科	0	0	0	0	0
経営工学科	0	0	0	0	0
コンピュータ科学科	12 (100.0%)	3 (25.0%)	7 (58.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)
情報システム学科	22 (100.0%)	12 (54.5%)	10 (45.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
情報メディア学科	11 (100.0%)	4 (36.4%)	5 (45.5%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)
情報ネットワーク学科	5 (100.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
情報科学科	0	0	0	0	0
知的財産学科	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
都市デザイン工学専攻	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
環境工学専攻	0	0	0	0	0
建築学専攻	0	0	0	0	0
機械工学専攻	5 (100.0%)	2 (40.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
生体医工学専攻	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
電気電子工学専攻	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
応用化学専攻	0	0	0	0	0
空間デザイン専攻	0	0	0	0	0
情報科学専攻	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
知的財産専攻	4 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

2. 大学院への進学に関する集計

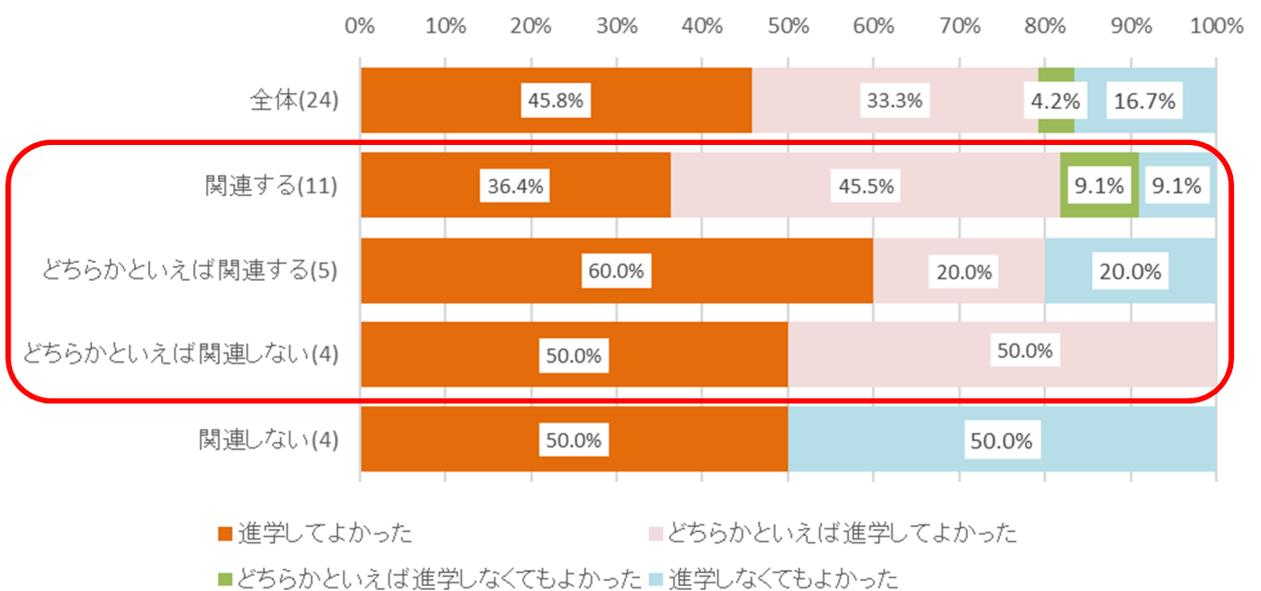
勤務先・業務内容が専門分野と関連があるかと大学院への進学について

- 大学卒で勤務先・業務内容が専門分野と「関連する」では、「大学院への進学の必要性を感じる（必要性を大いに感じる＋必要性を感じる）」が16.4%である。「どちらかといえば関連する」では「大学院への進学の必要性を感じる（必要性を大いに感じる＋必要性を感じる）」が14.6%である。
- 大学院修了で勤務先・業務内容が専門分野と「関連する」「どちらかといえば関連する」「どちらかといえば関連しない」で、「進学してよかった（進学してよかった＋どちらかといえば進学してよかった）」が全体より高い。

問3 (4) あなたの勤務先・業務内容は大学で学んだ専門分野に関連するものですか×問
 2 (2) 大学院への進学について、今のお気持ちを以下の中からお選びください
 ①最終学歴が学部卒



問3 (4) あなたの勤務先・業務内容は大学で学んだ専門分野に関連するものですか×問
 2 (2) 大学院への進学について、今のお気持ちを以下の中からお選びください
 ②最終学歴が大学院修了



3. 得点化による比較・考察

ここでは問4（1）（2）の回答結果を4点から0点まで数値化し、集計分析を行った。

問4（1）今の仕事で求められている能力・資質

かなり求められている…4点、求められている…3点、少しは求められている…2点、あまり求められていない…1点、求められていない…0点

問4（2）大学・大学院卒業時に身につけていた能力・資質

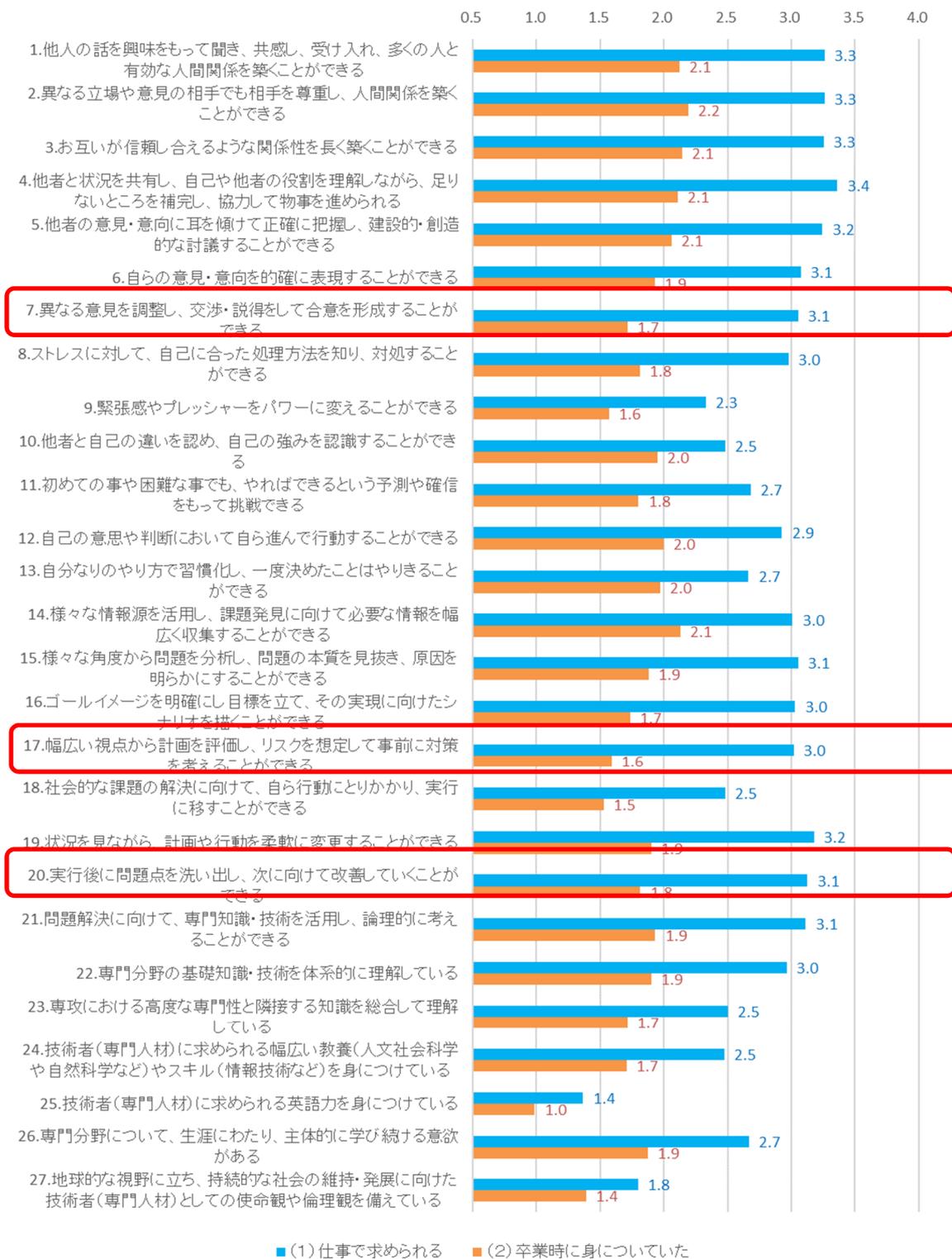
かなり身につけていた…4点、身につけていた…3点、少しは身につけていた…2点、あまり身につけていなかった…1点、身につけていなかった…0点

（1）全体比較

求められている能力・資質と卒業時に身につけていた能力・資質の差

- 全ての項目で「求められている」の平均点が「身につけていた」の平均点を上回っている。
- 求められている資質・能力で最も平均点が高いのは「4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる」で3.4である。次に「1.他人の話を興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる」「2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる」「3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる」で3.3である。
- 身につけていた資質・能力で最も平均点が高いのは「2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる」で2.2である。次に「1.他人の話を興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる」「3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる」「4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる」「5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる」「14.様々な情報源を活用し、課題発見に向けて必要な情報を幅広く収集することができる」で2.1である。
- 最も平均点に開きがあるのが「17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる」で1.4である。次に「7.異なる意見を調整し、交渉・説得をして合意を形成することができる」「20.実行後に問題点を洗い出し、次に向けて改善していくことができる」が1.3である。
- 最も平均点に開きがなかったのが「25.技術者（専門人材）に求められる英語力を身につけている」「27.地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者（専門人材）としての使命観や倫理観を備えている」で0.4である。次に「10.他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識することができる」が0.5である。

問4 (1) 今の仕事で求められている能力・資質、(2) 大学・大学院卒業時に身につけていた能力・資質の平均点の比較 (n=205)³



³ 設問 7、22、27 は n=204、その他は n=205

(2) 業種別比較

①建設業

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇7.異なる意見を調整し、交渉・説得をして合意を形成することができる
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる
 - ◇21.問題解決に向けて、専門知識・技術を活用し、論理的に考えることができる

- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇1.他人の話を興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる

- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇7.異なる意見を調整し、交渉・説得をして合意を形成することができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる
 - ◇21.問題解決に向けて、専門知識・技術を活用し、論理的に考えることができる

②製造業

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇19.状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇15.様々な角度から問題を分析し、問題の本質を見抜き、原因を明らかにすることができる
 - ◇20.実行後に問題点を洗い出し、次に向けて改善していくことができる

- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇14.様々な情報源を活用し、課題発見に向けて必要な情報を幅広く収集することができる
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。

◇20.実行後に問題点を洗い出し、次に向けて改善していくことができる

◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる

◇19.状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる

③その他業種

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。

◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

◇1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる

◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる

- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。

◇14.様々な情報源を活用し、課題発見に向けて必要な情報を幅広く収集することができる

◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる

- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。

◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる

◇7.異なる意見を調整し、交渉・説得をして合意を形成することができる

◇16.ゴールイメージを明確にし目標を立て、その実現に向けたシナリオを描くことができる

④その他

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。

◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

◇1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる

◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる

◇5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる

- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。

◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる

◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる

◇5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる

◇11.初めての事や困難な事でも、やればできるという予測や確信をもって挑戦できる

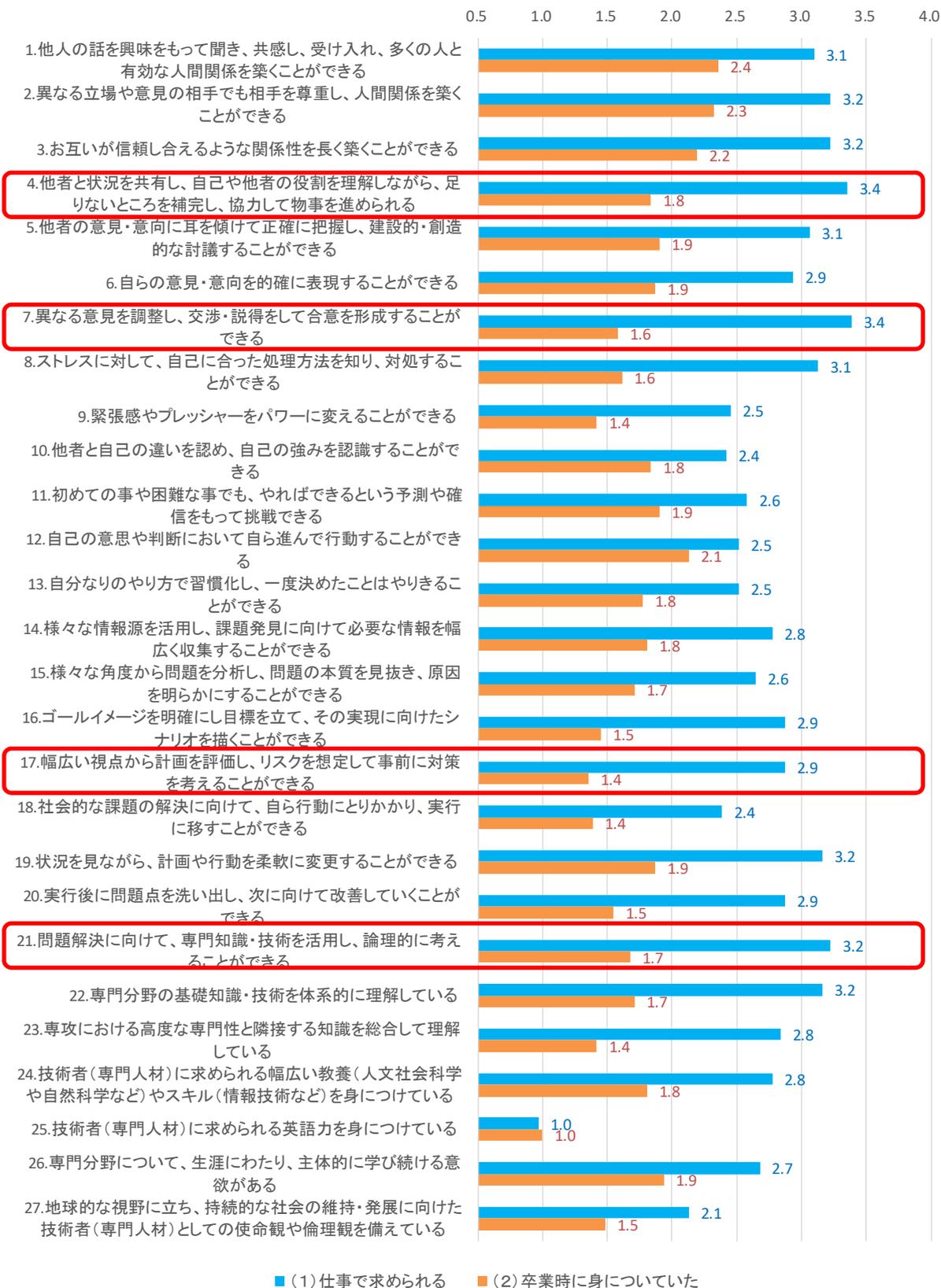
- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。

◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

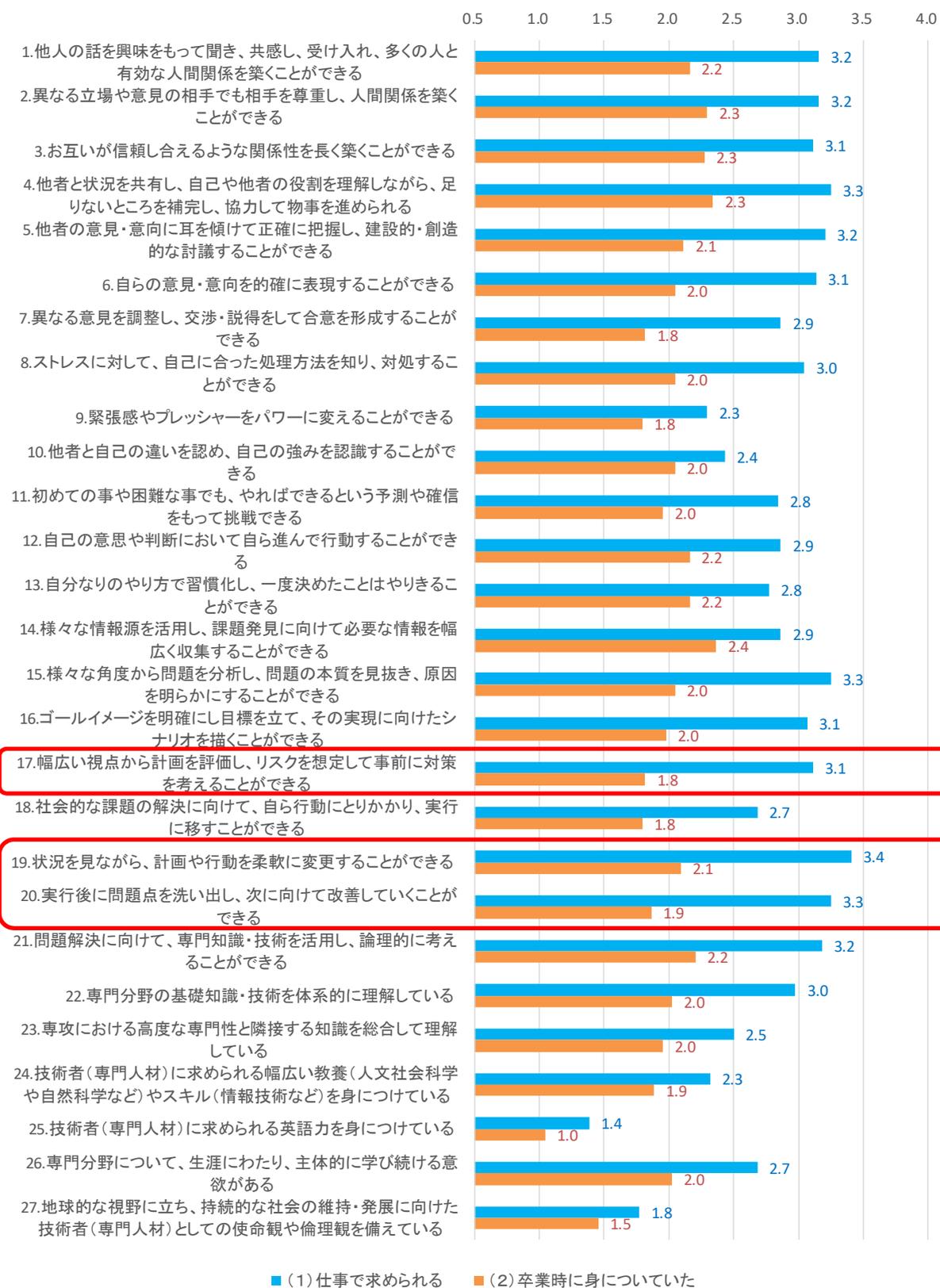
◇15.様々な角度から問題を分析し、問題の本質を見抜き、原因を明らかにすることができる

◇8.ストレスに対して、自己に合った処理方法を知り、対処することができる

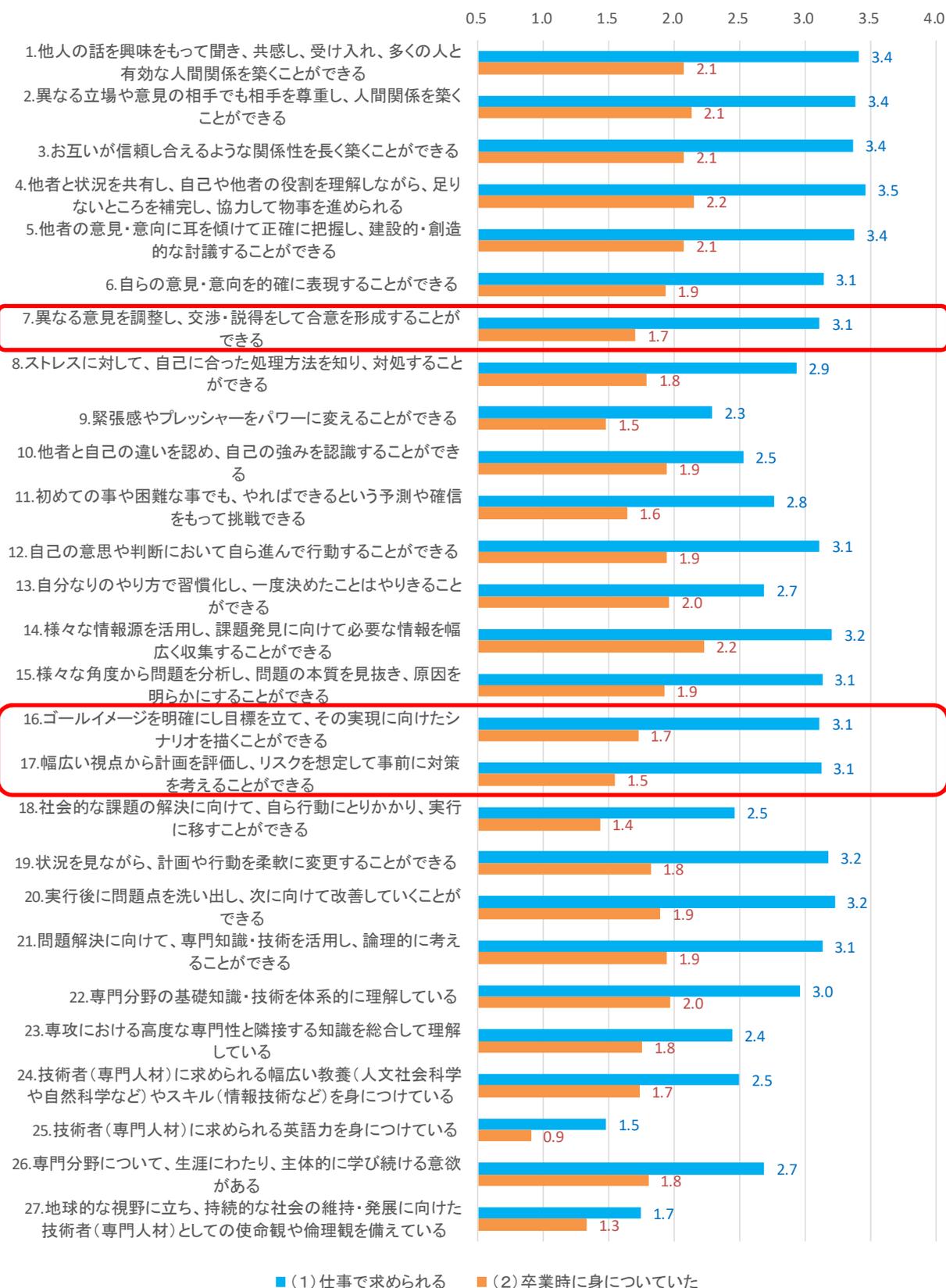
①建設 (n=31)



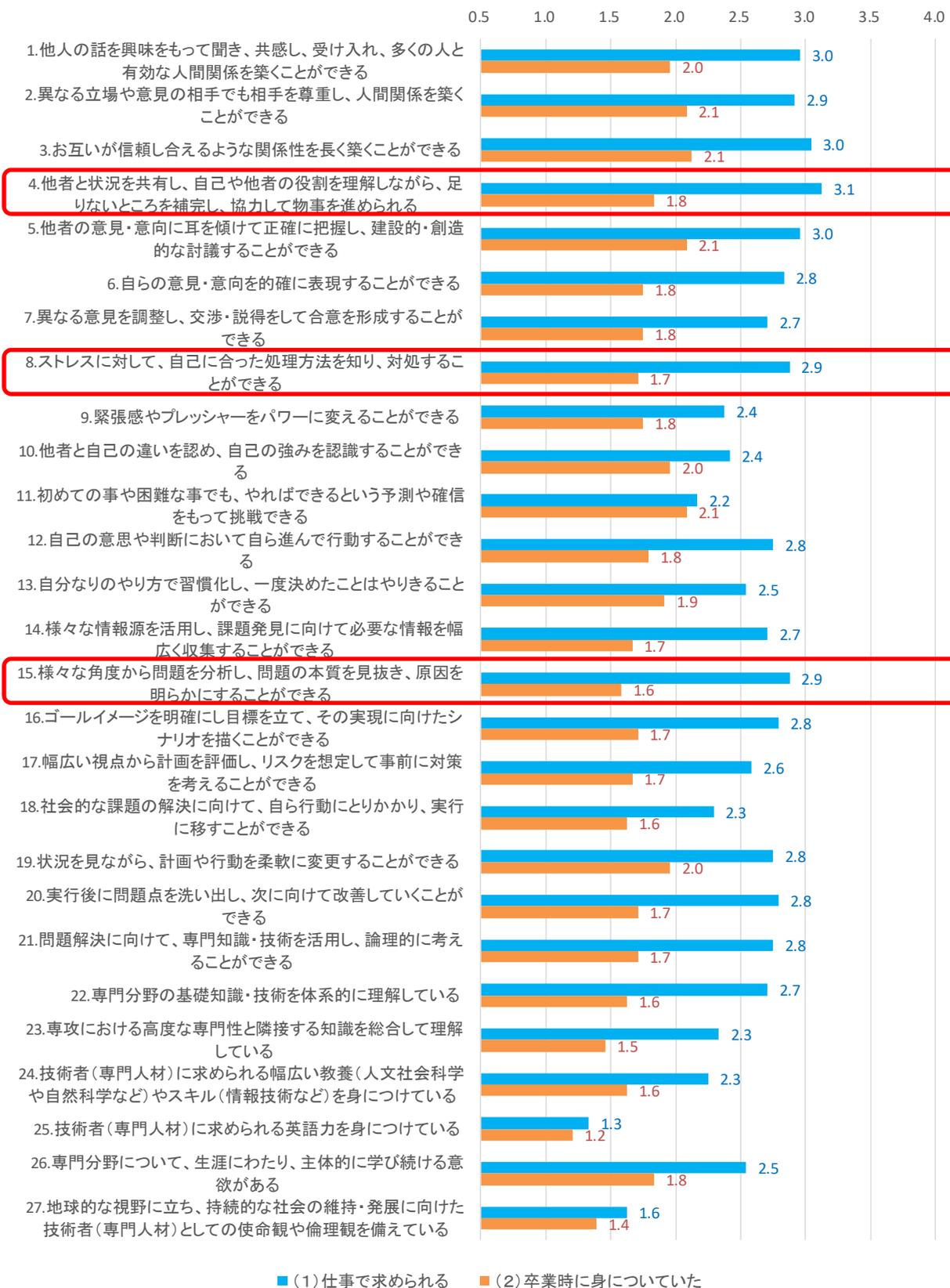
②製造業 (n=44)



③その他業種 (n=106)



④その他 (n=24)



(3) 職種別比較

①設計・開発・研究職

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇21.問題解決に向けて、専門知識・技術を活用し、論理的に考えることができる
 - ◇5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる
- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇14.様々な情報源を活用し、課題発見に向けて必要な情報を幅広く収集することができる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる
 - ◇21.問題解決に向けて、専門知識・技術を活用し、論理的に考えることができる
 - ◇16.ゴールイメージを明確にし目標を立て、その実現に向けたシナリオを描くことができる

②生産・製造・品質管理関連職

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇19.状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる
 - ◇8.ストレスに対して、自己に合った処理方法を知り、対処することができる
- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇1.他人の話を興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇20.実行後に問題点を洗い出し、次に向けて改善していくことができる

◇16.ゴールイメージを明確にし目標を立て、その実現に向けたシナリオを描くことができる

◇19.状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる

③その他

● 求められているもの上位は以下が挙げられる。

◇1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる

◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる

◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる

◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

● 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。

◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる

◇1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる

◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる

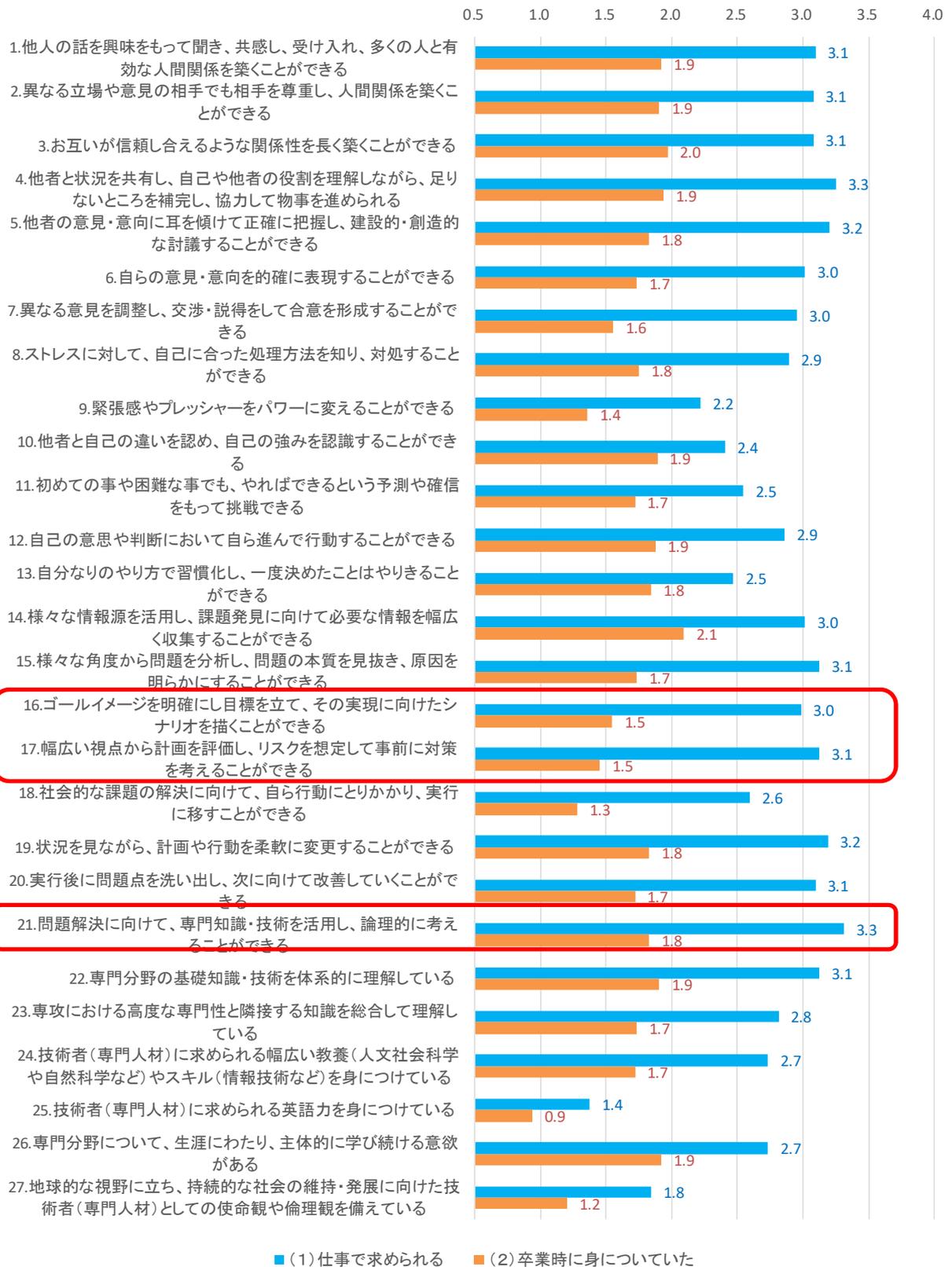
● 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。

◇7.異なる意見を調整し、交渉・説得をして合意を形成することができる

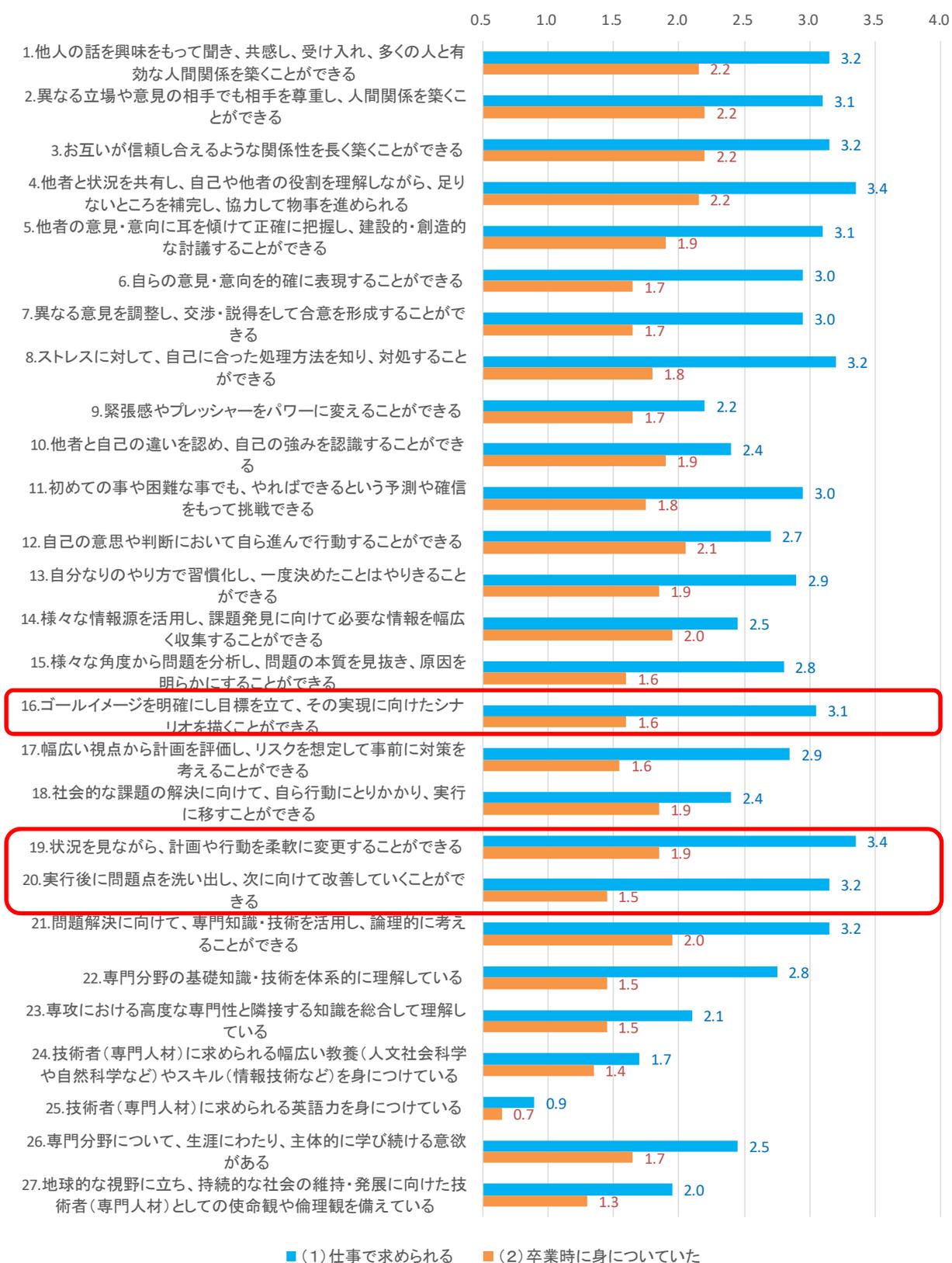
◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる

◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる

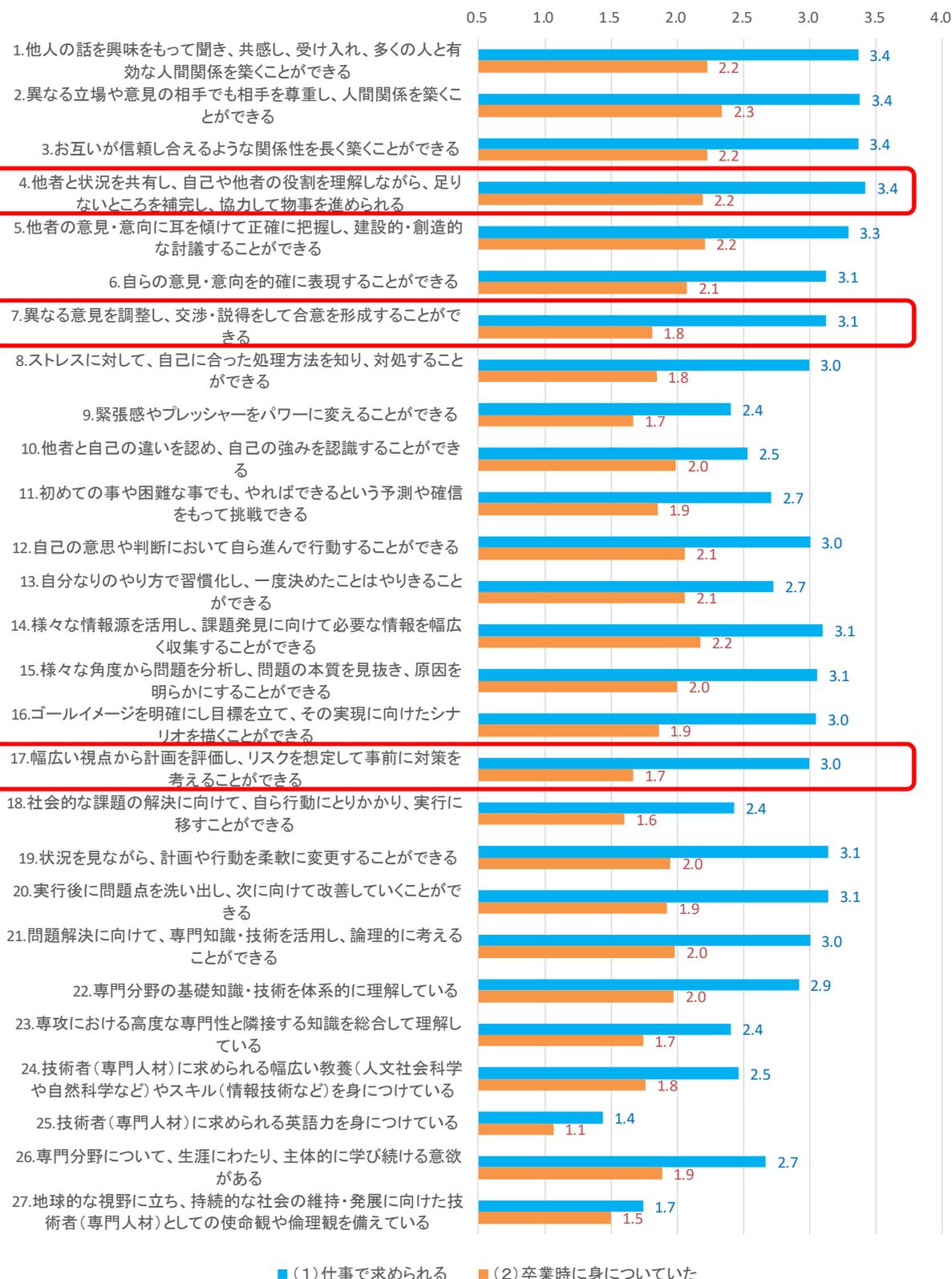
① 設計・開発・研究職 (n=64)



② 生産・製造・品質管理関連職 (n=20)



③その他 (n=121)



(3) 職種別比較

①100名未満

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる
 - ◇21.問題解決に向けて、専門知識・技術を活用し、論理的に考えることができる
 - ◇22.専門分野の基礎知識・技術を体系的に理解している
- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇26.専門分野について、生涯にわたり、主体的に学び続ける意欲がある
 - ◇10.他者と自己の違いを認め、自己の強みを認識することができる
 - ◇19.状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる
- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇6.自らの意見・意向を的確に表現することができる
 - ◇21.問題解決に向けて、専門知識・技術を活用し、論理的に考えることができる

②100～1000名未満

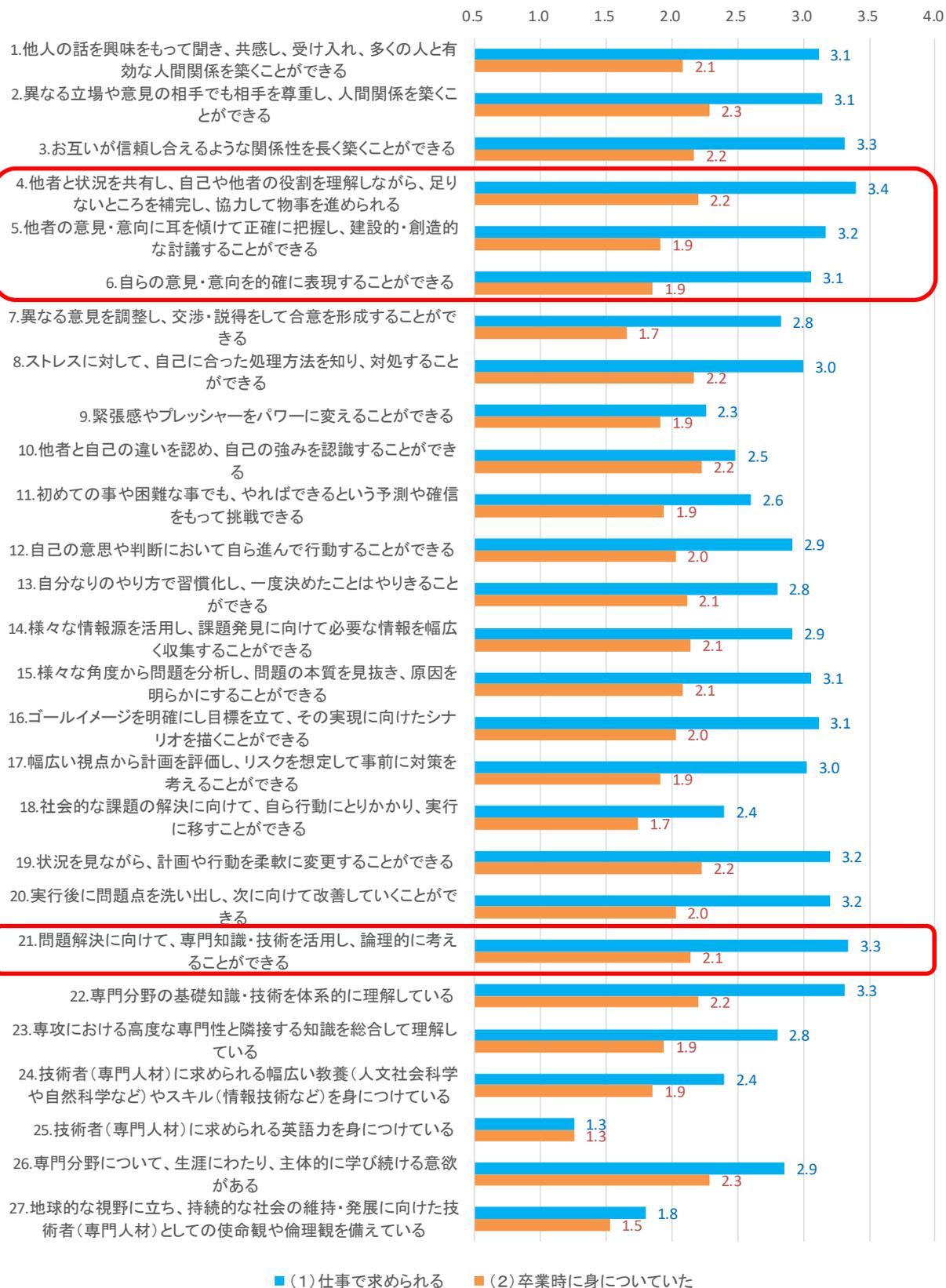
- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
 - ◇5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる
- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇3.お互いが信頼し合えるような関係性を長く築くことができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。

- ◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる
- ◇16.ゴールイメージを明確にし目標を立て、その実現に向けたシナリオを描くことができる
- ◇20.実行後に問題点を洗い出し、次に向けて改善していくことができる

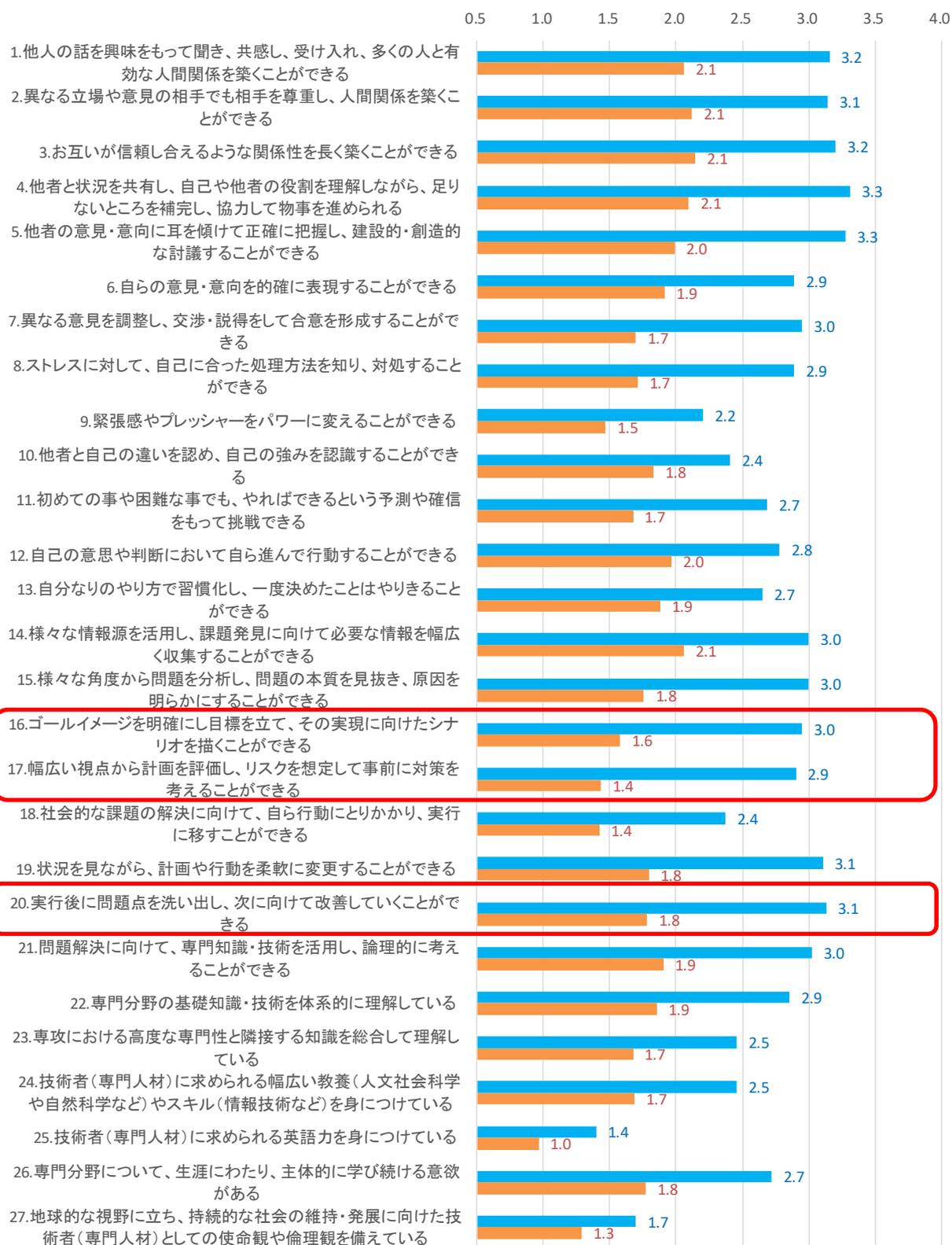
③1000名以上

- 求められているもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇4.他者と状況を共有し、自己や他者の役割を理解しながら、足りないところを補完し、協力して物事を進められる
- 卒業時に身につけていたもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇1.他人の話に興味をもって聞き、共感し、受け入れ、多くの人と有効な人間関係を築くことができる
 - ◇2.異なる立場や意見の相手でも相手を尊重し、人間関係を築くことができる
 - ◇5.他者の意見・意向に耳を傾けて正確に把握し、建設的・創造的な討議することができる
 - ◇14.様々な情報源を活用し、課題発見に向けて必要な情報を幅広く収集することができる
- 差が大きいもの上位は以下が挙げられる。
 - ◇7.異なる意見を調整し、交渉・説得をして合意を形成することができる
 - ◇17.幅広い視点から計画を評価し、リスクを想定して事前に対策を考えることができる
 - ◇19.状況を見ながら、計画や行動を柔軟に変更することができる

①100名未満 (n=35)

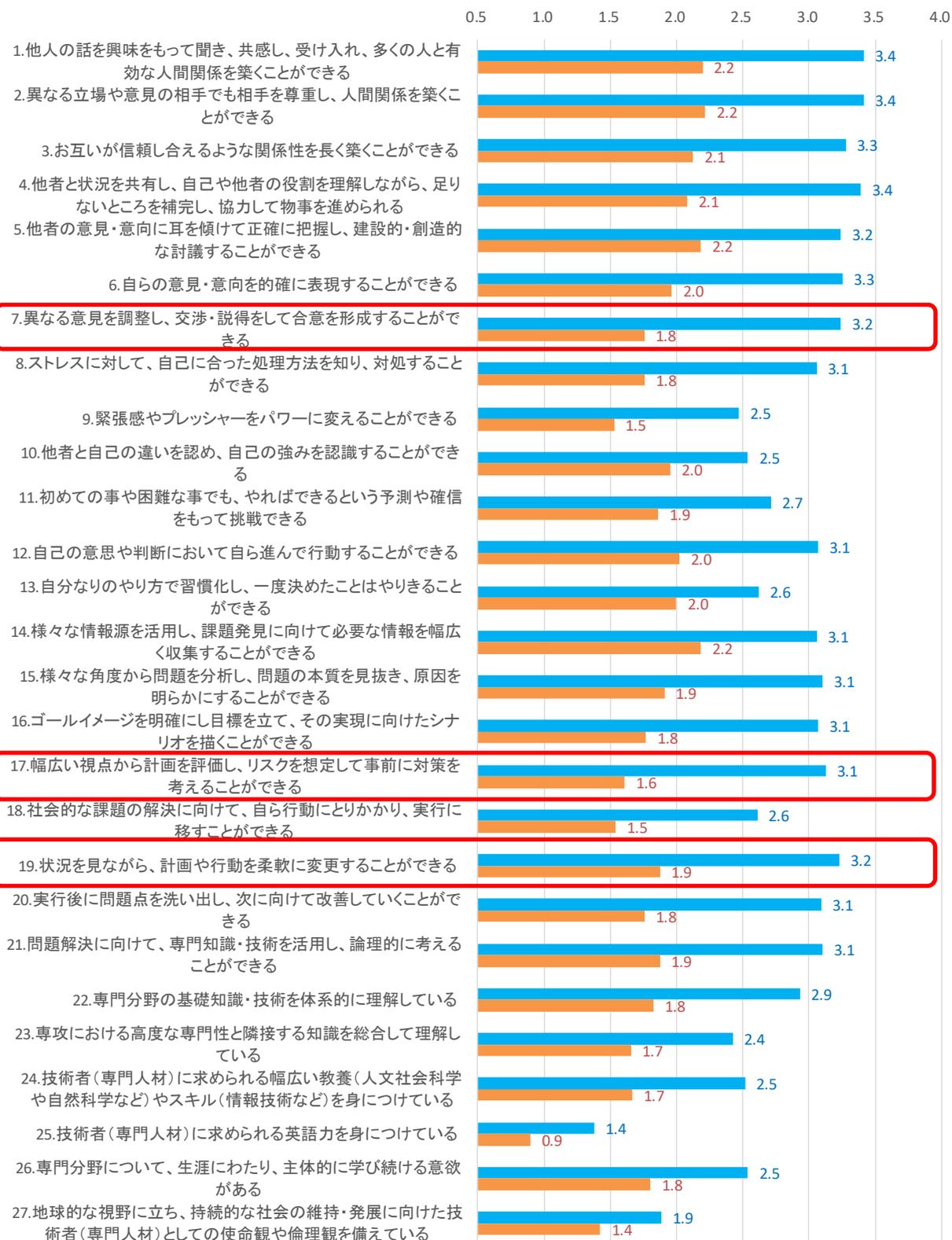


②100～1000名未満 (n=83)



■ (1) 仕事で求められる ■ (2) 卒業時に身につけていた

③1000名以上 (n=87)



■ (1) 仕事で求められる ■ (2) 卒業時に身につけていた